

エントリーカード集約一覧

2009/5 修正版

部会名	担当する基本目標	希望個別目標
第1部会	基本目標	
まちづくり	持続可能な都市と環境を創造するまち	- 3
環境	個別目標3、計画事業2 2	- 1 - 2
みどり	基本目標	
	まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち	
	個別目標3、計画事業5（再掲1含む）	
第2部会	基本目標	
福祉	だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち	- 3 - 5 - 1 - 2
子育て	個別目標5、計画事業2 3	- 2 - 3 - 4 - 1
教育	基本目標	- 1 - 3 - 5 - 1 - 4
くらし	安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち	
	個別目標4、計画事業2 9（再掲9含む）	
第3部会	基本目標	
自治	区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち	- 2 - 3
コミュニティ	個別目標2、計画事業6	- 1 - 2 - 2
文化	基本目標	- 1 - 2
観光	多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち	- 2 - 1 - 3
産業	個別目標3、計画事業1 1	

第2部会エントリーカード

希望個別目標		理 由
- 1	一人ひとりが個人として互いに尊重しあうまち	成年後見制度は去年外部評価の対象でしたので、主として男女共同参画の推進を取り上げたいと思います。自分自身、男女共同参画会議の委員も務めており、関心があります。
- 2	子どもの育ち・自立を地域でしっかり応援するまち	事業番号 1 1 放課後子どもひろばの拡充、学童クラブの充実について、前年度に引き続き定着状況を見たい
		事業番号 1 2 子ども家庭支援センターの拡充について、本年度新規開設状況との関連を考察したい
- 3	未来を担う子どもの、一人ひとりの生きる力を育むまち	特に、ローリングで大幅に予算が増加した日本語サポート事業に着目したい。新宿区は外国人の割合も多く、学校において日本語を理解しない子どもたちの割合が大きくなると、授業の妨げになります。如何にして日本語を習得させるかは今後の大きな課題と思われま
		事業番号 1 5 特色ある教育活動の推進
		事業番号 1 7 学校適正配置の推進（牛込地区）
		事業番号 1 9 地域協働学校（コミュニティスクール）の推進
		学校評価の充実
- 4	生涯にわたって学び、自らを高められるまち	事業番号 2 1 総合型地域スポーツ・文化クラブの設立・活動支援について、前年度よりの進捗状況を考察したい
		事業番号 2 4 子ども読書活動の推進
- 5	心身ともに穏やかにくらするまち	住宅地・オフィス街・大規模繁華街と三つの顔をもち、一方では多くの高齢者、要介護者から外国人まで生活されている街・新宿区としては、ここでは新型インフルエンザノパンデミックを一つの切り口としながら、日頃から住民サイドにたって、どうすればこの様なリスクを回避できるか、またいざと言う時の対策までセットで、危機管理のシステムを広く定着させておきたいと言う問題意識である。
		インフルエンザやエイズ対策など、全く取り上げなかった分野を取り上げたい。
- 1	だれもが互いに支えあい、安心してくらするまち	事業番号 3 0 高齢者の孤独死防止に向けた取組みの推進、
		地域見守り活動の推進
		事業番号 1 3 1 地域包括支援センターの機能強化
		主として大都市新宿におけるホームレス対策に注目したい。直接サービスを受けるのはホームレスですが、区民も生活環境の整備の一環としてそれを望んでいるわけで、それぞれのニーズが把握されてそれに応えられているか興味があります。
- 2	だれもがいきいきとくらし、活躍できるまち	独居高齢者や障害者とその家族などを地域が支えなければならない現実において、震災時や上記パンデミックなどへの緊急対策について、それらをセーフティネットとして機能させるためには個々の対策を包括できるような機能の強化が提案されているのかどうか、これをより実効性の高いものにしたいたいと言う期待感をもっている。
		高齢者や障害をもつ方々とそのご家族が生きがいを持ち、社会参加する機会を増やすためには、地域における協働・共助の取り組みとともに行政サービスにおいても教育委員会から地域文化部等関連部署のおおいな連携のもとで、その目玉となる支援策が推進されることを期待している。

- 4	日常生活の安全・安心を高めるまち	大都市に犯罪は付き物です。また、食に対する不安も高まっています。国や都が果たすべき役割が大きいことは事実ですが、区としては区民の要望に応え、十分に対応しているのでしょうか。
-----	------------------	--

第3部会エントリーカード

希望個別目標		理 由
- 1	参画と協働により自治を切り拓くまち	所属団体で「住民自治」をテーマに学習をしています。このため、新宿区の自治の現状と問題点は、ある程度理解しています。今年度制定される自治基本条例にも関心がありますが、基本施策「協働の支援」については、やや理念先行気味ではないかという懸念を抱いています。この機会に、区民の立場で目を向けてみたいと思います。
		行政と区民との協働により、より良いまちづくりをしていくことは大切。その協働のあり方をより具体的にどう進めるか関心あり。
- 2	コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち	個別目標1に比べ、以前からの流れの中で20年度内で少しずつ形が見えつつある事業が多いのではないかと理由
		マンションの管理組合理事長として「マンションのコミュニティ作り」に微力を尽くしているというか頭を痛めています。基本施策ともに関心がありますが、町会・自治会及び地区協議会についての区の期待と現状・実態との間にはかなりのギャップを感じます。願わしい方向に向けての提言ができればと思います。
		自治のしくみづくりはいろいろなされているが、実態として充分機能しているか、させるためにはどうしたら良いか
		地域の課題を論議する中で、コミュニティの希薄化が全てのネックになっていると感じた。具体的には地区協議会の位置付けや運営、地域活動を支える担い手の育成等に関心がある。
- 1	成熟した都市文化が息づく、魅力豊かなまち	若松地区協では地域の史跡、文人ゆかりの場所等を記した地図を作成。これをもとにまち歩きを企画して地域内外の人に紹介する予定。漱石山房の復元には特に興味がある。
- 2	新宿ならではの活力ある産業が芽吹くまち	文化創造・ものづくり等と、新宿ならではのどう結びつくのか、結びついたとき、どんなまちづくりにつながっていくのか。
- 3	ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち	多文化共生は、区民会議第6分科会の中でも議論があったもので、興味がある。歌舞伎町地区のこともテレビなどでも取り上げられることが多く、区政の実態を確認したい。
		元気がない地域の商店街の活性化、外国人との共生の推進等に関心がある。